

正改
 増補日本麻子
 三之卷 二之卷
 大和 河内 和泉 横津
 大坂町 大坂町 大坂町 大坂町
 神社 神社 神社 神社
 名所 名所 名所 名所
 名物 名物 名物 名物
 一七三 一七三 一七三 一七三

ル 3
 960
 3



門 113
號 960
卷 83

日本麻子卷三

○大和国十五郡大上ノカミ小ノシメ百ヒロセ余里ナノ

添上ソフカミ添下ソフシメ平郡ヘツカリ廣瀬ヒロセ

葛上カウシヤウ葛下カウゲ忍海シラノミ宇智ウヂ

吉野ヨシノ宇治ウヂ城下キシノモ城上キノカミ

市シ十市トシイテ山邊ヤマノヘ

○知行高四十四万四千二十石

○當國中ヨホリヤシロ城本所付城主代々

郡山城江戶ヨリ伏見迄百廿七里

大納言秀長其子中納言秀俊
城上キノカミ城下キノシメ

慶長五年

○御番城

大坂役世間井主殿助在番
為夜討没落仍後切獲

三十七

六万石

水野日向守勝成

備後福山に所替

十二万石

元和五年

松平下総守清匡

備前姫路に所替

十五万石

寛永十六年

本多内記政勝

十二万石

寛文十二年

本多中務女補政長

祖父義濃守忠政於備前姫路

丁五万石領父甲斐守政朝五万石

領忠政卒去之後父政朝十五万

石領政朝卒去之後政長依為

知事内記為後見十九万石

移當城十五万内記領之外三

万石政長二万石内記次男肥前

守領之内記卒去之後政長十二

万石領外六万石内記嫡男出

雲守領之内記忠政弟出雲

守子也 十五万石内三五石増

本多中務女輔

奥羽福山に所替

七万五千石内二万石増

延宝七年 松平日向守

下総古河に所替

○當城主

貞享二年

本多下野守忠平

本多信濃守忠直

○高取城

タカトリ

江戸ヨリ百三十四リ

大和納言家臣

本多太郎左衛門

二万石
天正十二年 脇坂中務少輔安治

淡路須本所晉

三万石
本多因幡守

同高
本多因幡守

二万五千石
寛永十八年 植村出雲守家政

二万二千石
植村右衛門佐家貞

外三千石弟志守配分

○當城主
同高
植村出羽守家明

植村虎伏家敏

○宇田
江戸ヨリ百七五里

三万石余
織田伊豆守信茂

○柳生
江戸ヨリ百十三里

二万石
柳生備前守宗弘

○小泉
江戸ヨリ百三三里船路共

二万石
厅相石見守貞起

○艾樹
江戸ヨリ百十九里余

二万石
織田肥前守輔世

○柳元
江戸ヨリ百二十里

二万石
織田播磨守秀俊

○奈良
江戸ヨリ百六六里一

二万石
永井播磨守直恒

○新庄
江戸ヨリ伏見百五五里
いふ百二十里

當所御代官

三百石
東中越兵衛

○南都町御奉行 与力六跡
日見世人

二千七百石
中坊美作守

○大和國中神社類 并諸宗佛摺

三輪大御神 城上郡ニ立

尚社は天物ニの神也神代は出現

社領百七十五石

神主 さふた兵衛

別當 平等寺

春日大御神 三輪山麓ニ立

稱徳天皇神護景雲三年正月

九日常陸國麻生郡より麻生にの

りり祭ハ二月申の月十五日日前

社領二万二千石

小院東小院 松林院 成身院

此外社家御作木

龍田御神 廣末郡ニ立

天武天皇自鳳定年四月十日に乞

をまらる廣末の神御同神ニ

祭ハ四月四日七月四日ニ社領十三石

高賀茂 葛城郡ニ立

此高賀茂神廢帝天皇天平室

字八年十一月祭之と云

布留神社 葛下郡ニ立

尚社ハ中興白川法皇の御建

之大已貴命の宮跡也

狛井神社 榛と郡ニ立

字多の天皇寛平九年三月七日

に建之法苑の神也

藏王権現 吉野ニ立

安門天皇の陵也藏王控現宜

化天皇三年吉野に現すとあり

此山弥勒仏の出世と云く令山之

令峯山と号す社領千十三石天

文武天皇大宝年中使の行者建立

役行者帝に此大峯に任りし

葛塚神社

吉野郡立

一言主の神天武天皇の御宇役

行者の禰基寺に智徳太子建立

率川神社

添上郡立

當社、大神の由子社三座

右大臣友の是公建立

當麻神社

葛下郡立

文徳天皇仁孝の三年に建立

祭、四月上旬の申十月十日

勝手神社

吉野山立

天孫臨降の時三十二神相添天降

電守神社

吉野郡山中立

住吉大御と御日御あり

丹生宮

吉野郡立

伊弉諾子水神也天武天皇の

御宇當國吉野郡スイヤクノチに

空海建立と云く

法隆寺

寺領千石

推古天皇十五年に新田の神

の教よりとて智徳太子乃

弟劍用御帝の御願寺也

伊香留香の寺と云く伊香

太子七生うぐを放あす持

ありあり南なの舎しや利り寺

遠麻寺 寺領三十石

推古天皇廿五年丙辰任大子の事

刺也

當麻寺 尼と山嶽の林無立

用徳天皇の中宮子麻呂古乃

草刺也此地役の行者の家地

あり道尊作慧灌初め六禅杖

寺と号す此地に観音堂あり

曼陀羅の中宮中お娘之地

中お娘とりの孝謙天皇の

御宇に右大臣豊原の娘也

継母の後言に有り愛心

して善心比五尼と戒名

は寺に有り日如来會佛

かこころ守あり佛の善に

有りて善の系と有りて曼

随姓と鐵の長一丈五尺也

の善の系と深井とて

今にありて深井系りけり

さくらとて當りて寺あり

中にあり寺領三百石 天台宗

推古天皇三年丙辰大

子孝刺初め廣隆寺とて

山号ハ佛乃山とて

多長山 寺領三百石 天

天智天皇の孝刺鎌足乃息

定惠兵大鐵冠の建ち也此地

大鐵冠の像也當り南面あり

廻廊ありの小路に坊舎半五

長老寺 寺領三百石

文武天皇の御宇に佳道とて

其基本なる十二面觀音長文

六尺行基其の作也當り南

向也其の方ハ天照太神右の

方い美日大御神也仁王門より
中堂よりぐ廻廊のうららき
坂也敷あり景地也西國順礼
才八番目の礼所也坊舎敷
十ヶ所中堂よりくを川を
渡りてく独喜の天神立あり

根於寺

寺領三百石

倭宗の惣本寺なり

法貴寺

推古天皇十五年に

建立

聖徳太子の御所也

法天寺

金剛山立

仁明天皇養和六年に建立

法華寺

左衛門尉

元正天皇の御宇道基と人の

建立なるは千手観音の像

道基と人土の壺のうららき

八角也世に壺坂寺と云ふ

寺領五百石天台宗之西國

巡礼才六番目の礼所也

知足院

孝徳天皇の御所

大化年中に皇創千葉介

大葉院

寺領五百石

堀川院寛治元年二月に

大葉院門跡建立と云ふ

新福寺

奈良立

元山行基寺領百石天台宗

金剛山寺

奈良の西のと

仁明天皇養和十二年法華と

人の建立依り矢田寺といふ

本寺地蔵菩薩也此の像ハ長

谷の観音の像と作る

本寺より春日大御神の御

作也
松尾親高 人王四十四代天武天皇
皇の孫舍人親王の建立親
高の像ハ世三年月以拜帳也
則親高の墓也と云く

一集院

奈良立

寺領千石定照僧都建立

東大寺

同所立

聖武天皇天平廿二年二月系
創 華嚴 三論 真言

大佛成就孝謙天皇天平勝

室四年四月供奉法華經

門後正大像ハ良弁後正作也

殿の言ハ十五丈六尺其像ハ

面回不肖の玉と納むと云

二月堂

奈良立

大和之國 奈良





孝謙天皇天平勝宝四年以弟
劍本寺觀音也

三月堂 奈良立

西大寺 奈良立
稱徳天皇天平五年始之御
造宮法花寺といふ

興福寺 奈良立

法相宗寺領二百石
在魚業平の本所也法相

不退寺 奈良立

眉間寺 奈良立

法相宗寺領百石

宗寺領五十石

永久寺 奈良立

法相宗寺領百石

身羽院天仁二年に奉創
勅願寺也

正曆寺 奈良立

一条院正曆三年に奉創勅
願寺なり

滋興寺 奈良立

推古天皇四年に建立元興寺
と号すこの麗慧慈母原野
并基を云く

法華寺 奈良立

孝謙天皇天平勝宝五年に
光厳天皇御願として建立

法華滅罪寺と云く

寺領二百三十石余

南圓堂 奈良立

元弘の天皇弘仁四年困院
の冬副建立道守作空海也

本号觀音寺として八角の

堂也西國三十二所巡禮觀

音才九番の札所也

長久寺 奈良立

聖武天皇の御宇に奉創
七堂伽藍の地也

日向寺 奈良立

聖德太子の弟創と云く

白毫寺 奈良立

天智天皇御願寺也

四成寺 奈良立

身羽院の御宇に建立用

基宣寛釋大阿闍利也

般養寺 奈良立

聖武天皇の弟創其後
治養四年七月廿八日平乃
重衡燒之龜山院文永年

中真正菩薩 再興サトコシ 延徳エトク
二年に空と正親町院 永祿
十年十月松永霜臺フキノ三好
合戦兵火焼付ヤケ 焼くヤク 云々
寺領三十石

忍辱寺 寺領二百三十石

天台宗の寺なり

大宮大寺 欽明天皇十一年

思寺ヨカテラ 寺領三十石

天智天皇二年に弟劍帝の

御願寺也本号観音丈六の

云佛也 天台 法相 義淵僧

正元基西國巡遊才七束由也

法蓮寺ホウレン 佛象 寺領二百石

大知院タイチ 天台 寺領百石

久米寺クメテラ 寺領百石

推古天皇の御願寺大伽藍

の地なり久米仙人の因基

天台寺也 東塔院、元正天

皇聖長老二年天竺長を畏

三義法依才奉納して建

立たり弘法大伴於塔乃

下より天日經佛舍利也

東光の寺 寺領三百石

法相宗也

福智院 日三十石

右日宗也

阿因寺 奈良立

光仁天皇天應元年聖哉

皇帝の后是の皇後の所
於建也

秋の條寺 奈良立

光仁天皇植成天皇二帝乃
御祈願寺也

超證寺 奈良立

後和天皇の所立に真如
親王の建也

信貴山 寺領二十石

大明蓮と人の建立觀音院
と名づく本名長沙つ天也

天台宗守之

子傳寺 市立

廢帝天皇天平宝字四年
建立大伽藍の地也開基報恩大所

肉山寺 天台宗也

寺領

法閑寺 天台宗也

寺領二十石

○大和國中各所之類

奈良 山標より南也京耶

猿沼池 南都真福寺の景

あり後花園院長長禪年
中五月十日中池の水血に

ありしと云
念池の玉念く念ろ念か念り念の

春日山 御神の女神社の所

く春り日く山書御り神りの新女社の所

耳江の山のつらあそり
あひのころあそりせん

田火山

右三の山は東あそり

神振山

奈良より紀伊の

あそり也人丸のうらに
しそり神あそり山のもろり

磯池

耳江のつらあそり

は所とこり紀伊へ行ハ三
務初あそりにみこり

吉中

初あそり南にあそり

あそり吉中ととつらあそり
あそりあそりあそり

新屋山

合峯山とあそり

甲のろ二里也奥の御前と云
十八丁奥也御前と云

秋津

人の世のあそりあそり秋津の
あそりあそりあそり

恒魚

あそりあそりあそり

あそりあそりあそり
あそりあそりあそり

葛株山

天山

右三の山はあそり

あそりあそりあそり
あそりあそりあそり

立回山

奈良より西也

あそりあそりあそり
あそりあそりあそり

誰の枝ゆつせきつかりぬ

立回の山よりなりてくまなく

三宮山 立回川より水と也

神下也

辰市 拾遺志の所に在

あはれ石の辰の市と云ふは

神南備東 立回山を以て所と

うろくさく天に立回より南

也より進し河内のはまをさひ

さる山也うろくさくさる山也

も山つてさ也小奈のさる山也

菟原伏見 とうをより西に

あはれ也古今雜のうろくに

いさくくにあ代つらん菟原や

八尾山 初瀬を以て山標の山

よもは日名も菟原伊光也

紅の八尾のさる乃紅をあらを

死川 吉野文徳通及乃

橋井より南の方赤木の里と

件来也 赤木の川のを取也

赤木の川ゆきさのさるの神林は

りか海原にらりらすは

真土山 紀伊のふさういなり

赤より十二里余も古今神の

うろくに小町

赤よりもさうられ乃れは

赤とちりたる人うわは

○大和國中 出石物之類

奈良良瀑 日赤物 海煙墨

吉野漆 日鏡 三物索麩

吉野葛 ヨシノクサ 同樵 カヤ 梳天庇 ボシテシウリ

舟福 フネフク 浪杏 ナミコ 御所柿 ミヤシヨカキ

春日山標 カスカヤマノイサキ 漆柿 ウシロカキ 屋敷 ヤシキ

箸中糍糰 ハシナカノアメチキ 船の白干 フネノシロホシ

國栖真 クニウラシマ 狗瓶 イヌビン 龜曲物 カメマカシモノ

大山今蒜 オホヤマノイモ 土風呂 ツチ風呂 塗桶 ヌリバケ

早濁 ハヤナダ 付硫黄 ツケイワウ 滑る皮 ヌルヒ

膠鞠 ニカワ 括纒 サシタ 灰ホウロク ハイホウロク

澁團扇 シヅウチヲ 西天寺 サイテンジ 豐心丹 ホウシンタン

法隆寺 ホウリウジ 沈水香 チンスイカウ 前胡 ゼンコ

枸杞子 クコシ 松脂 マツノアブ 秋丸太 アキマルタ

山折友 ヤマシク 塗漆 ヌリ 新田合羽 ニタカワ

郡山標 コホリヤマノイサキ 山菜 ヤマナ 菜籃 サイラン

○京都より大和國中へ出ると、

細砂、大和より西へをこて

○高尾より姫と道法十一里余也

山城國を也。ヨリ高尾より姫と

一里半、此より高尾より、

高尾より、郡山一里半、郡山ヨリ

小泉一里、小泉ヨリ、法隆寺一里

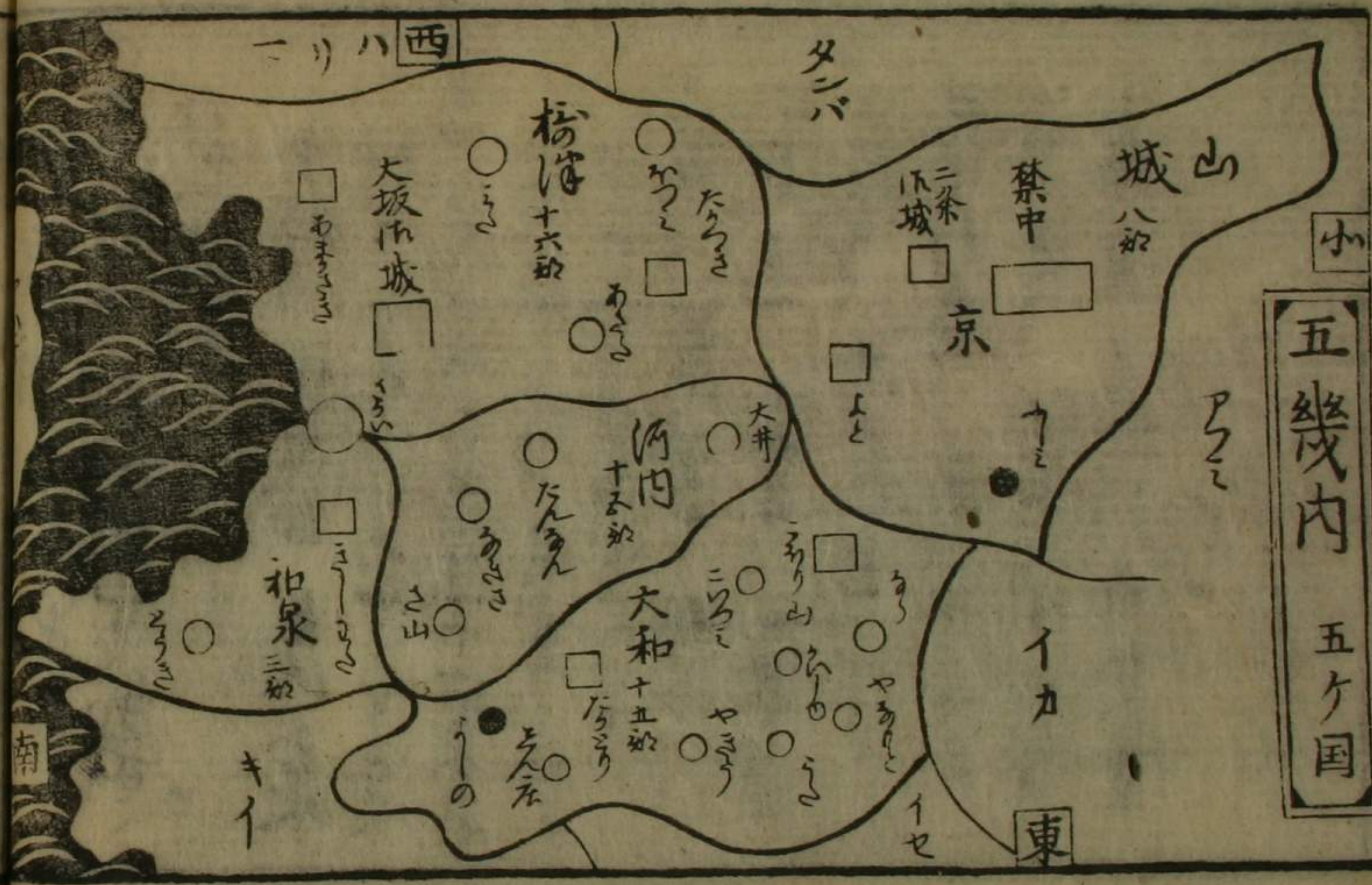
法隆寺ヨリ、新田新宮、六丁

新田新宮ヨリ、高尾寺、四里

高尾寺ヨリ、初瀬、六里、初瀬々

三橋、二里、三橋ヨリ、奈良、五里

五畿内 五ヶ国



大和の西京より東の方へ

河内 十五郡 大和 四ヶ国 二百余

美濃 石川 古市 安福

大和 志紀 丹波 丹南

淡田 交枝 若江 浪河

志紀 丹波 丹南

知行 三十五万八千八百五十石

當國領分所付

丹南 江戸ヨリ 百三十五里

大井 江戸ヨリ 百二十八里

依山 江戸ヨリ 百四十二里

諸 小余 遠江守氏朝

百九里十六

河内中神社并諸宗佛閣

平園大御神

河内郡立

尚社天恩屋敷の御跡中

一々尚必の二宮と云く
社領百石

八幡宮

美言田立

社領二百石

別當

東院
西院

當宗神社

石川郡立

光孝天皇仁和四年四月十四日
に始て尚必の祭ありと云り

祭、四月との酉乙

安大御神

安郡立

杜本神社

光孝天皇仁和五年四月始て
尚必の御跡と云く祭の式日
四月との申

賀茂大御神

神武天皇の御宇孫彦敷乃
賀茂御同神と云く

教林寺

石河郡立

龍泉寺

寺領七十石

空海建立此寺に云水大師
の加持よりと云く跡のと云く

玄觀寺

亀井村立

岩光寺

寺領十九石
同十七石

道徳寺

同百七十石

友井寺

從三位友井給子の建立也と云く
園林ちと号す本寺の千手觀音

大日本書紀

卷一

西は巡礼才五重の礼所也
観念寺 寺領廿五石

観心寺

東寺の宮賢慧建立天長四年
以供奉

同國中名所之部

交野魚

の交より南也 禁野

作川を北ありの石所也

天川魚 あり西へ流るり

天川魚

あり西へ流るり

渚寺

渚川の末也川より

生泊山

竹山を回にあり

ありより平より山よりあり

柿下あり新古今並のまに

秋志地

生泊山の林麻也

秋志の山ありの里あり

稲巻里

ありより山ありの里あり

号宮

稲巻に曰名也

同中名物類

楊梅石川

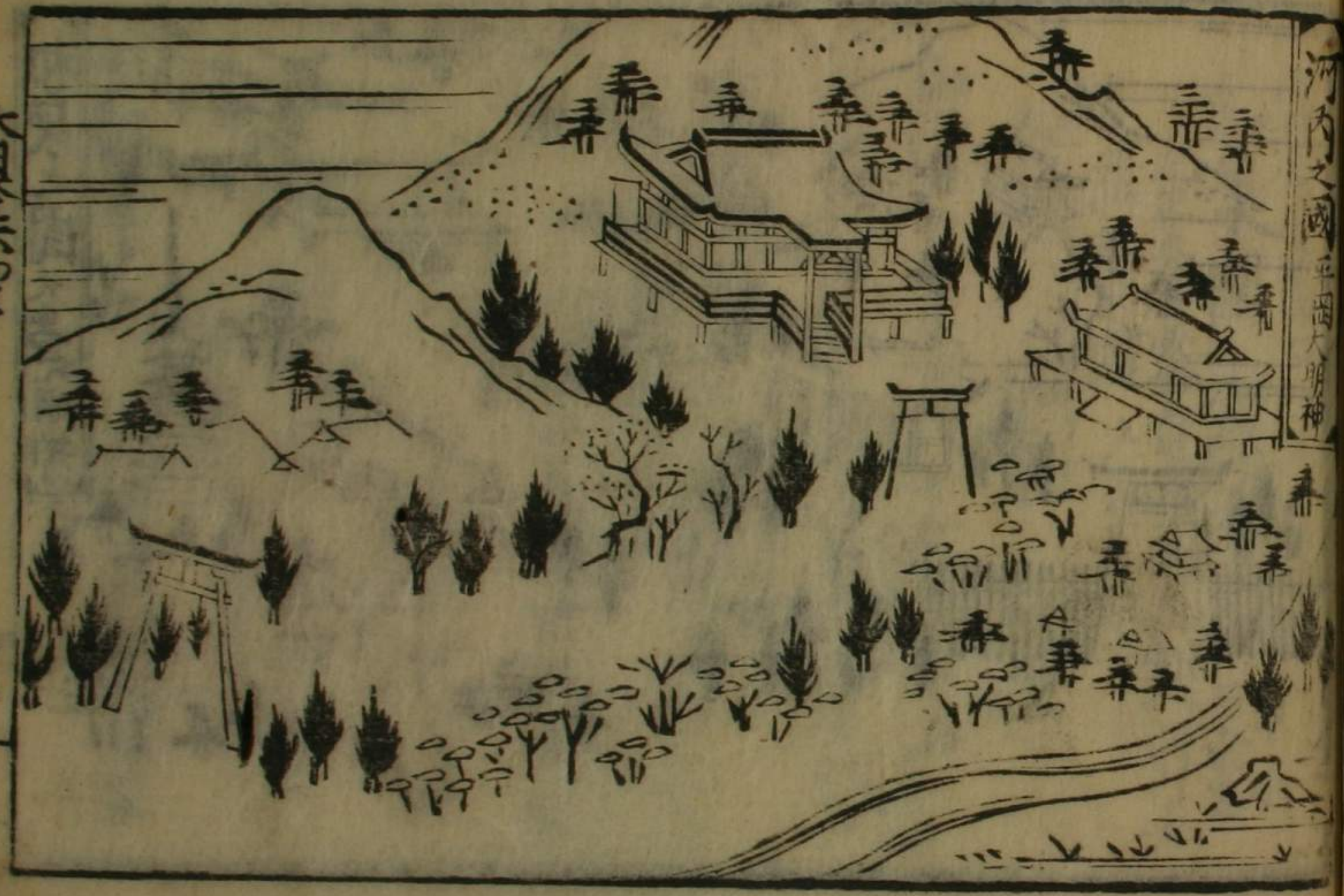
柿 綿郡

平地

毛利は漬香物

引飯ヒキイヒ道ミチ船フネのつりりか 鳥トリ羊ヒツ白ヒ
 干瓢カンビョウ小角豆コカクマメ 蓮根レンコン 目録
 青皮アヲカ 鶏卵ケイロウ 実ミ 蛇床子スズナ
 久室キウシツ 木綿キヌ 麩フ 有ア 有ア 有ア
 白炭シロコ 灰ハイ 換カ ぬぬ りり ぬぬ
 木キ 榎ノ 子コ 道ミチ 船フネ のつり りか 木キ 炭コ 灰ハイ 換カ ぬぬ りり ぬぬ
 令コト 割ワ 砂サ

河内之國 平四大明神



和泉之國 大鳥大明神



河内必より南

○和泉國

三郡大下必

百餘里

元正天皇靈龜二年四月割河内必置和泉國

大鳥

和泉

小振

○知行三十三万八千七百九十石

○當國城元所付并城代

○岸和田城

河内ヨリ百四十一里 東ヨリ十九里

○城主代

三万石

小出幡麻右守秀政

同

小出大和守吉政

嫡子

後幡守政

五万石 小出大和守吉英

内二万石但刃出石

六万石

松平周防守康重

元和五年

内二万石換地

大和國

一

六万石 岡部茂濃守宣勝

五万三千石

岡部内膳寺隆

外五十石房主祝助二十石

同阿波守豊明配分乏

貞享三年二内膳正隠居

○當城

邑部 邑部 永泰

大寺 柳沢公羽守保爾

○當城

一万三千石

渡邊備中守基綱

○堺の政所

千七百石

浅野壹岐守

○同所御代

千三百石

今并七高共係

和歌國中神社 諸宗佛橋之類

大身神社

大身郡立

日本武尊の御跡當國の宮

天満宮

堺の立

社領二百石

別當言宗

白泉寺

寺領九十石

勸宗寺

同百十石

律宗

長尾寺

同百石

眞尾寺

号施福寺

欽明天皇の御代也 行徳上人

の建ち本之弘法大師の代

一カ三祀の千手観音の像也

西國三十三巡礼観音寺四處之

照田寺 寺領五十石

津古宗之

旭蓮寺 同四十石

右同宗也

祥雲寺 傳之

後水尾院の御宇澤庵和尚

の再基と云く

大寺 傳三村立

寺八十石

妙國寺 傳之

法花宗之 再基日湖と人共

寺に大本のてりあり

寺領百廿石

顯本寺 寺領廿二石

右同宗也

岩田寺 同二百石

右同宗也

慈恩寺 傳之

徹翁和尚の再基也と云く

短王寺 和泉郡立

法花宗 寺領廿石余

禪通寺 同六十石

律宗也

金佛寺 同八十石

右同宗也

光徳院 同十八石

律宗也

○和泉國中右所之部

信太本村 比嘉、楠也 傳之

子校の神りさかしくよめり徳月

法郎のうまに

夜さよぬいむとまん何も

伏の妻乃くくまてあり
吹居浦 紀伊丹後同名あり

○和泉國中ヨリ出名物類

堺織サカイオリ どんすの類 サカイデバ 堺出歯サカイデバ 庖

茶柄拍チヤビヤク 茶拍チヤビヤク 光滝白炭クハラクタキシロスミ

天川身子紙アマカトリノココロ 腰張紙コシハリカミ

大身オホミ 履ハキ 中溪ナカノタニ 漆木履シヤウキハキ

常盤トコノエ 梳シ 上村ウヘムラ 笠カサ 尾節ビノヒ

鬼オニ 餅モチ 墨田シロタ 干ヒ 煎ヒ 灸ヤキ 培ホ

貝カイ 塚ツカ 麦ムギ 粉コ 沼ヌマ 池イケ の海ウミ

新田ニタ たた ちち 三三

日本麻子巻第三

○撰津國

十六郡大上国四方二日半
京ヨリ未申河内ヨリ西也
西南ハ海小ハ山也

住吉 百ヒヤク 東成 西成

八部 下シモ 上ウヘ 豊トヨ 彦ヒコ

河内 武庫 卷マク 系ケイ 有馬

○知行も二十九万九百石
當国大坂所之各通之分大概

天波橋通

岩所 三丁 五丁 八丁 小岩丁
南谷丁 五本丁 万年丁 三本丁
松本丁

天林橋通

三丁 五丁 八丁 小岩丁
岩所 三丁 五丁 八丁 小岩丁
南谷丁 五本丁 万年丁 三本丁
松本丁

京橋一河同分 六丁五

○小形丁 寺島丁 松丁 とも丁
○むね丁 寺島丁 海井丁 大つ丁
○あや丁 内車丁 寺島丁 東入丁
○橋つ丁 寺島丁 小川丁 長谷丁
○お久丁 東入橋丁 中町丁 白丁
○いづ丁 辻丁 久加丁 長谷丁
○小川丁 寺島丁 久加丁 長谷丁
○寺島丁 寺島丁 松山丁 飯島丁
○ぐら丁 寺島丁 長谷丁 寺島丁
○小寺丁 寺島丁 寺島丁 寺島丁
あ丁

○今橋西へ丁 二丁あり

○あまの橋丁 六丁あり

○多良の橋西へ丁 あり 上人丁

○はげん丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁

○通事あり 寺丁 寺丁

○東平丁 三丁 西平丁

○中井丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○百貫丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

○寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁 寺島の丁

うま子丁 とうま子丁 かのり丁

九介橋分西 二丁 五

もえん子 山子丁 久々丁 大和丁

おあ丁 錦袋子 西子丁 若田丁

新丁 松原丁 せき子 島子

三つ寺丁 大和丁 田子丁 ちり子丁

久ら子

○マ子 橋とぬ 二あり丁 白あり丁

下中子 白竹子 石より丁 久人丁

ちり子 ちり子

○長崎橋分西 白あり丁 中子 仲子 三丁

白あり丁 三子 ちり子

○中橋分西 玉あり丁 けり子

おま子

○三休橋分西 久ら子 けり子

おま子 ちり子

○新津橋分西 久ら子 ちり子

ちり子

○石のや橋分西 平ら子 ちり子

ちり子

○日向橋分西 長丁 中子 柳子

○新中丁 左尾島橋 標子

ひろ法あり ちり子 せん芝 飛あり

○西国橋分西 平橋子 玉あり丁

白あり丁 ちり子

○尾崎橋分西 赤丁 母者丁

白あり丁 ちり子 せ丁

○二あり丁 橋分西 ちり子 ちり子

ちり子 ちり子 ちり子 ちり子

○糸橋分西 ちり子 ちり子 ちり子

新あり子 ちり子 ちり子 ちり子

○新遠に橋分西 橋あり丁 神田丁

修子丁 白あり丁 ちり子 ちり子

さね子 ちり子 日向丁 橋あり丁

ちり子 ちり子 西丁 ちり子

○西久良寺橋 新丁 橋分西

青山因幡守

左田栲津守

本寺社奉行

水野重俊守

京都法司代上九

土屋相摸守

京都法司代上七

内藤大和守

松平肉備守

土岐伴子守

内藤豊前守武信

○御城番

保科陣正

阿部栲津守

石川備广守

板倉門辰正

渡邊丹後守

安倍丹波守

米津出羽守

保科陣忠

○當御城番

渡邊信中

松平大藏少輔

同所

○御取奉行

水田科千住
水田千住人

小浜氏初敷浦

同所

○御具足奉行

岡与三右衛門

依摺儀平

同所

○御銃炮奉行

稲苗志三郎

織田令左衛門

浅井傳八郎

○御弓奉行

二百石

水上六九連門

二百石

倉田不承

○御令奉行

由後科八千石
同三之元

二百石

服色守屋

日

八木庄

日

小尾市

日

同官不承

○御杖木奉行

二百石

三橋左衛門

二百石

門奈地七郎

○御花元

二百石

田村傳

二百石

日根基

二百石

神原長

同国

○高槻城

江戸ヨリ百七七里
京ヨリ

當城信長時代より山右近居

○城主代々

元和三年

二万石

志波山城守定吉

元和五年

二万石

下総依倉所替

寛永十三年

五万石

和泉岸和田所替

寛永十七年

三万六千石

丹波篠山所替

慶安二年

三万六千石

松平若狭守康信

○當城主

日三

永井日向守直清

同

市正直時

同

永井近江守直只
同 文九郎直朝

同国 ○尼勝城 江戸ヨリ百三十甲

戸田九門氏鉄代新城

○城主代

元和三年

五万石

戸田九門氏鉄

寛永十二年 五万石

青山大藏玄圃業成

四万八千石

青山大膳亮幸利

外三千石八弟丹後守幸通二千石八同
信濃守千石八同友房配分之但新
田共大膳亮嫡子大藏依病乞孫
領之

○當城主

同国 四万石

松平遠江守忠喬

○久

江戸ヨリ百九里半

三万五千石 松平因幡守

同国 ○三田 江戸ヨリ百三十七里

三万六千石

九鬼丹後守隆休

同国 ○丸生 江戸ヨリ百廿六里

二万五千石

安部播磨守

同国 ○麻田 江戸ヨリ百廿三町

七万石

青木由俊守

同国

青木出羽守重行

○御代宿

二百石

菅原行之忠

三百石

松村玄仙守

二百石

末長高之丞

同国

○三ノ根御代宿

田中玄次守

伏屋美久

○大坂御城御用

尾作 友左衛門
大工 山村 惣右衛門
池邊 南 高 兼

○撰津国中神社并諸宗佛閣

住吉大明神 住吉郡立

本社撰社未社住吉十五所 御口十
三所合て二十八所其外れ多し 建
立神功皇后必承曆代のお軍家
亦建立し守りまゐりて毎年七十
餘度とも中御回極大被お授會
お終世人の志あると云ふ

社从二百十六石

社務一人四品

以外社人社仍

○生田神社

高社八雅日女也 清和貞觀元
年十二月十六日社家後二位

社从二百石

○西宮

西宮三立

号廣田社大神宮御日社也又
稱志比酒殿

社从 神主を易き事

○水鏡御遺

惟之親王の御所也土御門院明
應三年二再興後を相流の二物
社也と云く

社从五百石

○座摩神社

西成郡三立

○高洋神社

三津郡立

高社八用明天皇の灵神也と云く

○生玉神社

生玉庄立

神武天皇戊午二月到難波磯
祠地云く豊后秀頼の氏社也

○葦刈の林 難波立

父婦の林也と云く

○天満宮 上牧村立

菅原家左近の目いすのよひく自盡の儀也と云く

○猪狩大の林 五蓮立

○五郎宮 大坂立

依くあらの後五郎の具林也と云く

○勝備 日所立

お色保のま色

○庚申堂 天王寺南立

核田彦の命此堂也と云く

○天王寺

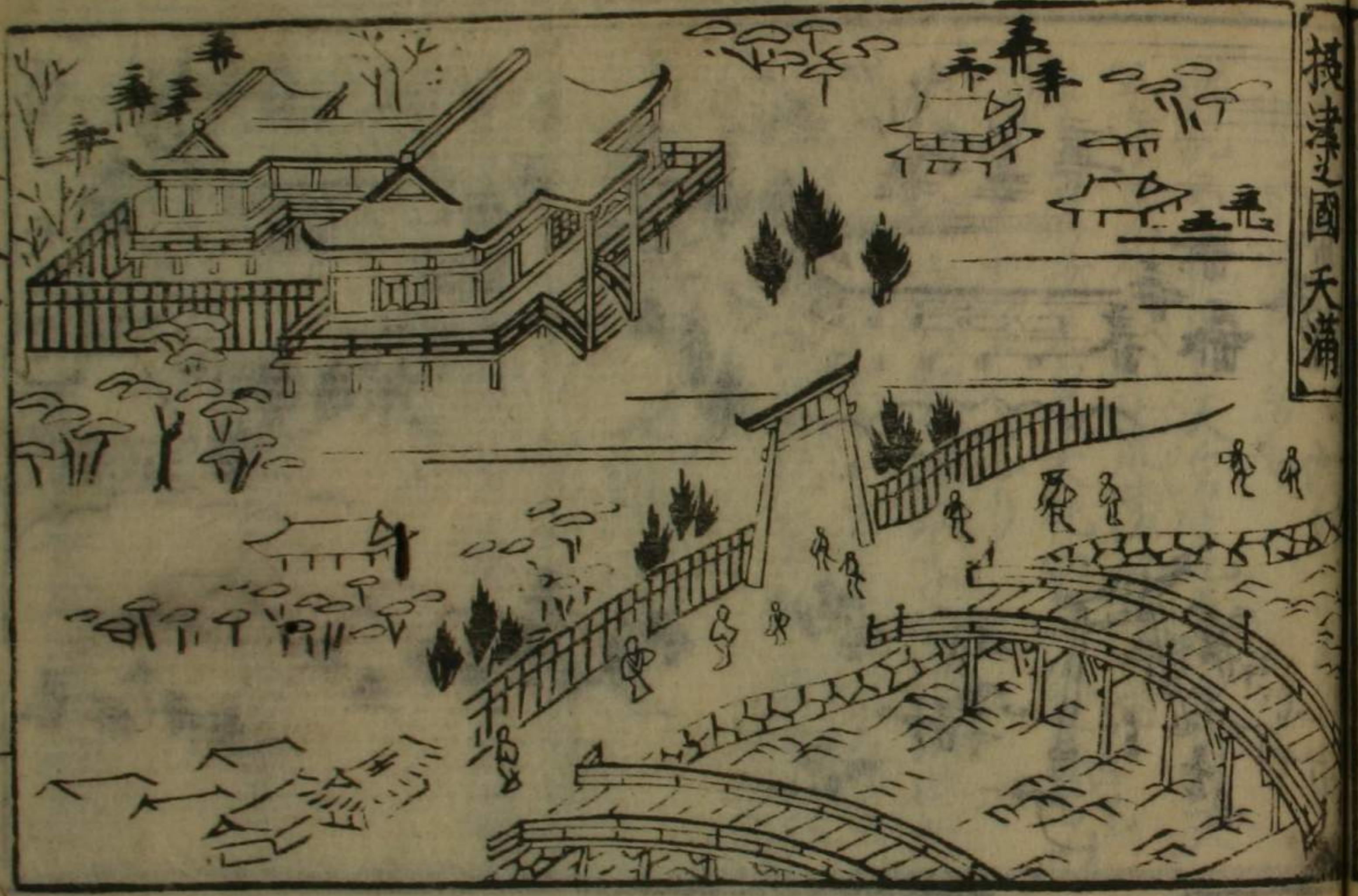
用の天皇二年に系創り西太の

湧り也

四天王寺

日所立

横濱通國天満



接列 天王寺



接列 天王寺 推古天皇元年十月四日

王寺と新波の荒陵にあり

寺の孝徳天皇大化四年に美智山

の塚とあるとあり

妙法輪寺ハ西室海を子の所法也

○百瀬寺

難波里立

推古天皇十五年新波の里に建立

聖徳太子の造立久安元年為天台

○箕面寺

役の行者の所基大伽藍の地あり

中多弁也天也

○勝尾寺

聖武天皇神龜元年新羅所基

大日本書紀

十

用成皇子其後善仲善策
女傍用山号弥勒寺ト云云宗也
寺願七石ト云云千拜釈尊
而ト云云作也巡礼釈尊ト云云

○神峯山寺

行基キキがそののち中興用成皇子
建立今浄土傍守之

○物寺院

宇多天皇寛平二年二月四日に建
教主山法中絶言建之ト云云
なす土面多ん西園然ト云云

○仲山寺

香海太子ト云云也ト云云
西必二千三ト云云釈尊ト云云

○金龍寺

村上天皇應和二年二井の千釈
上人中興用山ト云云安満寺と名付
令ト云云寺願ト云云

○松来寺

仁的天皇嘉祥三ト云云以多刹昭宣公
会釈ト云云寺願ト云云

○地福寺

元正天皇御宇ト云云尚方ト云云

○神咒寺

淳和天皇天長四年ト云云

○就馬林寺

仁徳天皇七十四年ト云云

○源寺

天皇宗心ト云云寺願ト云云

○毘陽寺

有馬立

系列孝謙天皇天平勝宝元年
始行基造立寺曰十二坊ハ
後鳥羽院建久三年仁西遠之云
温陽の出るる舒心天皇三年
りあそ也とあり

○伊坊寺

伊坊守友系の継蔭ひすり伊坊建
立様の名本今にあり

○大坂立寺院之部類

○禅宗

禅林寺	玉泉寺	大林寺	法雲寺
江心寺	大仙寺	梅松院	安住寺
吉祥寺	鳳林寺	法源寺	大衆寺
天瑞寺	春湯院	巖梅院	法春寺
洞岩寺	法光寺	寒山寺	正泉寺
円通寺	長泉寺	天徳寺	立願寺
法光寺	龍海寺	久松寺	

○浄土宗

心眼寺	宛傍寺	楞嚴寺	宗心寺
洞泉寺	宗円寺	法苑院	佛心寺
宝樹寺	永正院	大通寺	極楽寺
折言堂	正光寺	慶良寺	長春寺
長安寺	蓮生寺	西林庵	竹林寺
安養寺	宛相寺	天性寺	大念寺
長来寺	白雲寺	中念寺	誓願寺
深光寺	西光寺	重教寺	大華寺
構念寺	淨心寺	深智寺	金齋寺
万福寺	法善寺	法泉寺	安来寺
本持寺	一念寺	菩提寺	法泉寺
安養寺	大光寺	心光寺	宗念寺
光天寺	長心寺	西玉寺	法由寺
大光寺	長福寺	宗慶寺	法源寺
称名寺	西勝寺	西之寺	西会寺
良運寺	正教寺	九品寺	長徳寺
宝城寺	雲長寺	大信寺	考念寺
西教寺			

○同百万遍派

法泉寺 吾乃寺 大教寺 大應寺
傳光寺 本光寺 西念寺 西岸寺
大田寺 慶徳寺 成道寺 宝園寺
大音寺 光西寺 補光寺 光会寺
光西寺 大光寺

○同黒谷派

念仏寺 光吾寺 大音寺 坊後寺
淨雲寺 法泉寺 銀山寺 大母寺
西方寺 久性寺 妙香院 法住寺
宝林寺 大林寺 長後寺

○法花宗

本照寺 法娘寺 正美寺 妙光寺
久本寺 妙法寺 海法寺 長久寺
妙經寺 妙徳寺 本長寺 本後寺
本行寺 本正寺 妙壽寺 宝泉寺
後泉寺 法性寺 法雲寺 久成寺
本光寺 妙徳寺 紫王寺 常春寺
中妻寺 雲雷寺 田妙寺 正法寺
達光寺 常来寺 妙光寺 本行寺
成正寺 妙後寺 瑞光寺

○一向宗

表浄堂 裏浄堂

正親町院 天正十五年 顯如大

建立之云々

摂津国中名所之部

○難波

不ノ名ノ大坂ノリ示申乃云々
後後探教教の云々

本大政大臣

今更に被ハ玉ノ所云々

難波の云々の人云々

長柄橋 難波よりかし橋ハリ

云々云々云々の橋云々云々

はる橋

もと新波をこ天王寺の十一里あり
も橋は西より西へ流川の末へ後をこ
信今からうりや、その後のとりのつて
ゆるは下不然水の二乃王お出なあり
是より林橋とよみなり川鹿
へはの畠ありし所あり
後をこや大の畠にやとらて
を弁はるゆりしまはるや

○おん倉の里

天まら、いねののこり

○時尾橋

みへはと所ありえをこあり

みへはと所ありえをこあり

こつと守ありとの沖はむら

○田妻

天王寺の西海をこし津島力とに
はえ東へいせこいん、作をまらて
かありい名のうたにありとありとを
しはわりたりたるとや

○津津松糸

是を新波を所也、津津ありし
不わり古今意のうに

名り名と糸をなしたる、新波

津津とよみありしとよみ

○各所

遠はよ同名あり

新波ののりし小松橋、きつり

橋ありしとあり

上津のうりし橋、乃松のよと

まらうはねとことありあり

○任名

郡乃名也、西海は新波南あり
波也、橋は西あり、西林の三井
西向し、松糸あり、任名のうらま
あり、わき松糸あり、新波の
任りし一里余あり

小波ありてありし松糸、任名乃

浦ありしとありしありあり

○安倍地

すこきありしありあり

里の久岐守あり乃修らる
うたふよぬれてまらさう

○長井浦

をねらてさう長井の浦を
ゆめすさうあまのり

○遠里小龍

ゆるりありあは延法所の奇
後古の景乃見とすじあり

○備名山

志あつあつそのあり東流
鴨のねとのありりた子

○蘇川

いものうらちわり南あれら細
こ川也まらりけりしりり海
ありあ田の景といふあり十町
東へ大田とこまらり六里あり
人とらわたりあはけの玉
あまらるるあまをまげり



長吉

すまの松原とあり後尾山と
あり山あり川と云岩の山也
と云のあり

○箕面

北山あり并々天の海あり後尾
山のあり

○五月山

五月山は月夜やういふ

○御新の森

と云の松原の内也社あり天
乃山也南向の海と云の海に
北山あり

○生田の里

北山南の海也東海をいふ
と云の田の浦あり

○布川の海

北山南の海ありと云の海に
あり

○漆山

兵庫のわりのあり

○梅田の海

ひうごの南にありと云の海に
あり

○夏神

兵庫のわりのありと云の川をいふ

○蓮の池

ひうごの西十丁ありと云の池に
あり

○廣田

兵庫のわりのありと云の西あり

○吹テ

兵庫のわりのありと云の西あり

中山南八海之東の地より西行り
乃り一橋を越る所の分た(先
白作ハカと云ふ云々云々)

白石ノすりしとの水

伊予の里ハ三原より一里余あり
西ノ東より三原より十八里云々
れねハ里より南候云々
わらハもくくハ上三里ニ
あり一西の岩より南候
あり一西の岩より南候
おれハもよ一の云々云々
まハ伊予の雲マとの云々
の内と云々より伊予ハ
傍列云々ハねと極あり
大々云々と云々と伊予の
あり一の岩と云々と云々
有云々

伊予の石ノ海と云々

散ツミナ 伊予の湯イハ 伊予の湯イハ

(一) 同國中ヨリ 出ル名物之類

川流セト 本綿モウ 福徳細本綿フク

雀スズ 紅ベニ 腹ハラ 腹ハラ 腹ハラ 腹ハラ

野甲ノカ 河蟹カニ

作 伊予村と云人氏所あり合
我 云々云々其の中云々云々

戸ト 隙ヒラ 子コ 大坂町分格
道徳ミチ 延命散ニンメイ 大坂町分格

傘カサ 五イ 河カ 摺スリ 碁イシ 石イシ 碁イシ 碁イシ

紫革ムラサキ 錦革ニシキ 毛皮ケ 細工コ 安土町

紙子シ 浪紙ナミ 久宝町分格
樽板クレー 板イタ 石灰セキ 河カ 板イタ 碁イシ

木綿モウ 織オリ 帯オビ 同儀ドウギ 足タビ 袋フクロ 伊予

木綿モウ 組クミ 滑ツル 伊予 用ヨウ 大坂町

○指物 サシモノ 相木の物切らむと申すは作
 ○澁土 サヒツチ 土より ○多行 タハナリ 玉造り
 ○派 ハ 天香 テンカウ 作き ○綿神 ワタガミ 作 ○蕪 ウ 作
 ○松露 マツノロ 佐多より ○木津丸 キツノマリ ○干瓢 カンヒョウ 須賀
 ○古妻木綿 コツメモウ ○築港 キツク 港 ○三倉 ミクラ
 ○将基 シヤツキ 作

○堺 サカイ 入庄 大道筋 朱庇 シユヒ 丹
 唐土 カラツチ 阿波 アハ 粟 アヲ 粒 リツ 半度 ハシヤク 包丁 ハツテラ
 ○柳町 ヤナギ 汗口 ○探町 サツ 鉄炮 テツホウ
 ○土居原 ツチイハラ ○中津 ナカツ 惣観 ソウカン 十房 ジュウボウ 盤
 札 サシ 天和 テンワ ○川口 カハ 規 ニミ 鮎 シロワラ
 ○尾崎 オノザキ 併貝 ヘイカイ 蛤 カキ 丸白蟹 マシロカニ ○西宮 ニシノミヤ 水鯧 ミヅササギ
 小鯛 コシロ 御名 ミナ ○多田 タタ 紺青 コンシヨウ 縁青 エンシヨウ
 ○勝尾寺 カチツツ 併 ヘイ 一倉炭 イツクラ 世に他田 セニタタ
 依り他田 ヨリタタ 市にわくら 依り

○有る引物 アールヒキモノ 世に陽山 セニヨウサン 楊枝 ヨウジ 行柄 ユキハシ 杖
 骨作 ボネツクリ 庖丁 ハウテイ 盆山 ヒツサン 蒔 マキ 時 トキ 珍 メダカ 破 ヤブ
 伊丹酒 イタミ 富田酒 トミダ

○大坂より西國所へ之に船附
 振津国中之分道 二付

大坂分 一里 竹法分
 竹法分 一里 尾崎分 二里

尾崎分 一里 尾ヶ濱 オノザキ 渡り大物の浦と一里は不
 多り大坂よりいぬ也右 百八
 尾崎分 西へ 西へ 西へ
 西へ 二里 西へ 一里

あつご分 一里 竹法分
 三つづ分 一里 尾崎分 一里
 尾崎の分 一里 尾崎分 一里
 尾崎分 二里 尾崎分 一里

はるかに平の尾登入たつて一里
の勝あり夏に尾のり入たの尾登を
福来而城郭の尾ありは一里の
尾登あり

一里 一の尾登 一里 一の尾登

平家の城ありふくけの山
ありのせく尾をこみわつと
たしあり尾列と尾列の尾あり
こりまの方あり尾あり
双方あり尾とふくけの
まつとつとく大木ありた
わらうしま山あり

是よりまくの尾あり
分れありくま尾あり



